平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　天馬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7958　URL　http://www.tenmacorp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉田　長幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員　(氏名) 堀　隆義　TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	44,545	3.0	2,234	23.1	2,556	28.5	605	△44.7
24年3月期第3四半期	43,232	8.1	1,814	130.9	1,989	175.0	1,094	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　2,259百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△1,542百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	22.31	―
24年3月期第3四半期	39.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	69,391	58,166	83.8	2,146.47
24年3月期	67,525	56,585	83.8	2,088.11

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　58,165百万円　24年3月期　56,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年3月期	―	15.00	―		
25年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	0.9	2,750	15.0	3,850	45.7	1,850	1.8	68.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	29,813,026 株	24年3月期	29,813,026 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,714,871 株	24年3月期	2,714,507 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	27,098,302 株	24年3月期3Q	27,542,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績予想に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）におけるわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金等を背景にして、一部に緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機や米国財政問題に伴う世界経済の減速、円高の長期化、電力供給の制約等から、先行き不透明な状況が続きました。しかし、12月には政権交代による経済政策への期待感から、円高修正、株価上昇等の明るい兆しが見え始めています。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、前年同期に東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響で一時的に減少した工業品合成樹脂製品分野の受注が、復旧に伴い増加したこと、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が新製品やカラー企画製品を中心に引き続き安定的に推移したこと等により、売上高が増加しました。

この結果、売上高は445億45百万円（前年同期比103.0%）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加、原価・経費の削減効果等により営業利益が22億34百万円（前年同期比123.1%）となり、経常利益は前年同期との比較では為替差益に転じたこと等により25億56百万円（前年同期比128.5%）となりました。

また、天馬精塑（中山）有限公司の工場売却に係る固定資産売却益や弘前工場建設に係る補助金収入等の特別利益がありましたが、この補助金に係る固定資産圧縮損や投資有価証券評価損等の特別損失があり、四半期純利益は６億５百万円（前年同期比55.3%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

前年同期は東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響を受け、工業品合成樹脂製品が受注急減に見舞われましたが、その後、自動車メーカーや電機電子メーカーの生産体制復旧を背景に、車両や電機電子を中心に工業品合成樹脂製品分野の売上高が増加しました。

また、ハウスウエア合成樹脂製品分野につきましても、フィッツプラスシリーズを始めとする大型収納ケース等の新製品やカラー企画製品を中心に、売上高が引き続き安定的に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、172億53百万円（前年同期比101.2%）となり、セグメント利益（営業利益）は16億30百万円（前年同期比109.9%）となりました。

（中国）

地域内のグループ各社は、個社別にバラつきがあるものの、概ね業績は改善傾向にありましたが、電機電子関連の受注が欧州を中心とする世界経済の減速を背景に、このところ伸び悩みつつあります。

この結果、当セグメントの売上高は、135億55百万円（前年同期比103.0%）となり、セグメント利益（営業利益）は５億19百万円（前年同期比117.0%）となりました。

（東南アジア）

東南アジア諸国の堅調な内需等に支えられ、工業品合成樹脂製品の受注が増加し、地域内のグループ各社の業績は若干のバラつきがありますが、総じて順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、137億36百万円（前年同期比105.5%）となり、セグメント利益（営業利益）は７億69百万円（前年同期比143.4%）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて18億66百万円増加し、693億91百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が６億16百万円減少しましたが、現金及び預金が15億51百万円、前渡金等の増加によりその他流動資産が６億45百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて２億86百万円増加し、112億25百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が４億５百万円減少しましたが、前受金等の増加によりその他流動負債が７億83百万円増加したこと等によります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15億81百万円増加し、581億66百万円となりました。これは、投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等に伴い、その他有価証券評価差額金が17億62百万円増加しましたが、利益剰余金の減少が73百万円にとどまったこと等によります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月９日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細は本日（平成25年２月８日）別途公表いたしました「平成25年３月期　通期業績予想の修正及び第３四半期投資有価証券評価損の戻入れに関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,216,389	22,767,160
受取手形及び売掛金	12,141,069	11,524,875
商品及び製品	1,828,663	1,921,781
仕掛品	276,862	308,350
原材料及び貯蔵品	2,932,287	2,764,302
繰延税金資産	222,241	242,341
その他	1,333,633	1,978,539
貸倒引当金	△10,088	△13,565
流動資産合計	39,941,057	41,493,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,419,329	6,702,636
機械装置及び運搬具（純額）	7,520,808	7,964,974
その他	3,270,468	2,881,887
有形固定資産合計	17,210,605	17,549,496
無形固定資産	2,338,614	2,234,977
投資その他の資産		
投資有価証券	7,324,353	7,118,701
繰延税金資産	330,191	396,423
その他	390,638	608,490
貸倒引当金	△10,840	△10,840
投資その他の資産合計	8,034,341	8,112,774
固定資産合計	27,583,560	27,897,248
資産合計	67,524,617	69,391,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,970,565	6,565,104
未払法人税等	177,228	184,771
賞与引当金	505,077	374,414
その他	2,544,371	3,327,275
流動負債合計	10,197,242	10,451,564
固定負債		
退職給付引当金	62,666	79,508
役員退職慰労引当金	600,987	624,298
資産除去債務	9,864	10,638
繰延税金負債	61,140	48,335
その他	7,800	11,014
固定負債合計	742,457	773,793
負債合計	10,939,699	11,225,358

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	27,880,203	27,807,393
自己株式	△3,496,058	△3,496,373
株主資本合計	62,533,995	62,460,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,872,293	△110,214
為替換算調整勘定	△4,076,964	△4,185,163
その他の包括利益累計額合計	△5,949,257	△4,295,377
少数株主持分	180	179
純資産合計	56,584,918	58,165,672
負債純資産合計	67,524,617	69,391,029

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	43,231,933	44,544,922
売上原価	35,839,850	36,618,139
売上総利益	7,392,083	7,926,783
販売費及び一般管理費	5,577,648	5,692,565
営業利益	1,814,436	2,234,218
営業外収益		
受取利息	95,709	98,030
受取配当金	282,110	217,883
為替差益	－	21,933
その他	101,600	104,084
営業外収益合計	479,419	441,930
営業外費用		
売上割引	52,941	51,055
開業費償却	25,453	43,501
為替差損	202,657	－
その他	23,432	25,754
営業外費用合計	304,484	120,309
経常利益	1,989,371	2,555,838
特別利益		
固定資産売却益	16,920	221,278
投資有価証券売却益	5,736	－
補助金収入	－	173,622
特別利益合計	22,656	394,900
特別損失		
固定資産売却損	18,873	16,929
固定資産除却損	2,583	39,924
固定資産圧縮損	－	142,927
投資有価証券評価損	－	1,758,218
減損損失	26,000	70,400
特別退職金	93,630	42,888
災害による損失	108,361	－
その他	73	18,327
特別損失合計	249,520	2,089,614
税金等調整前四半期純利益	1,762,507	861,124
法人税等	668,555	256,465
少数株主損益調整前四半期純利益	1,093,952	604,659
少数株主利益	7	10
四半期純利益	1,093,945	604,650

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,093,952	604,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,475,842	1,762,079
為替換算調整勘定	△1,159,798	△108,210
その他の包括利益合計	△2,635,640	1,653,870
四半期包括利益	△1,541,688	2,258,529
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,541,687	2,258,530
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△1

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

1　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,054,391	13,159,117	13,018,425	43,231,933
セグメント間の内部売上高又は振替高	146,987	24,216	―	171,203
計	17,201,379	13,183,333	13,018,425	43,403,137
セグメント利益	1,482,367	443,695	536,153	2,462,215

2　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,462,215
セグメント間取引消去	9,229
全社費用(注)	△657,009
四半期連結損益計算書の営業利益	1,814,436

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

3　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,253,270	13,555,158	13,736,494	44,544,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	134,770	47,420	―	182,190
計	17,388,040	13,602,578	13,736,494	44,727,112
セグメント利益	1,629,521	519,168	768,924	2,917,613

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,917,613
セグメント間取引消去	4,393
全社費用(注)	△687,788
四半期連結損益計算書の営業利益	2,234,218

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休土地について減損損失70,400千円を計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。